

計算書類に対する注記

(相双基金)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価について

満期保有目的の有価証券 …… 取得価額

その他の有価証券 …… 時価

(2) 固定資産の減価償却について

該当しない(什器備品等なし)。

(3) 引当金の計上基準について

該当しない(退職引当、減価償却等なし)。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲は、流動資産・流動負債とする。

2. 基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	68,085	0	0	68,085
定期預金	7,700,000	7,700,000	7,700,000	7,700,000
有価証券	79,931,915	0	0	79,931,915
基本金合計	87,700,000	7,700,000	7,700,000	87,700,000

※有価証券は10年国債の額面80,000,000円(2件)である。

3. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格及び評価損益は次のとおりである。

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
国債(第271回 利付10年国債)	19,934,685	20,052,000	117,315
国債(第309回 利付10年国債)	59,997,230	63,018,000	3,020,770
合 計	79,931,915	83,070,000	3,138,085

4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	24,150,880	23,478,079
未収金	229,800	229,800
(合 計)	24,380,680	23,707,879
準備金	24,835,233	24,835,233
(合 計)	24,835,233	24,835,233
次期繰越収支差額	△ 454,553	△ 1,127,354

5. 固定資産の取得額等について

該当しない。